

群馬県の昆虫類に関する現状

～群馬県にはたくさんの昆虫がいる?!～

ぐんま昆虫の森 金杉隆雄

はじめに

昆虫は、昆虫綱に属する節足動物の一群で、世界中の様々な環境に生息しています。現在までに知られている昆虫の種数は80万種以上で、全動物種のおよそ2/3を占めています(図1)。日本国内からは約3万種が記録されていますが、調査が進めば10万種前後が見つかると考えられています。

群馬県の昆虫の種類数は多い?少ない?

それでは、群馬県内には何種類の昆虫がいますか?群馬県から記録されている昆虫の種類を調べたところ、5,000種類以上が確認できました(表1)。この5,000種という数は、一県あたりから記録される昆虫の種数として多いでしょうか?少ないでしょうか?

関東地方の近隣の都県と記録されている昆虫の種類を比べてみると、群馬県より少ないのは千葉県だけでした。栃木県をはじめ、埼玉県や神奈川県、東京都は1万種前後の昆虫が記録されています。なぜでしょう?

例として関東地方の都県別にチョウの記録種数を比べてみます。群馬県は関東地方では最も多くのチョウの種類が確認されています。ところがチョウや蛾の仲間が属するチョウ(鱗翅)目の全体の種類数を見ると、群馬県は下から3番目になってしまいます。その他の目をみても、多くの種が含まれるコウチュウ(鞘翅)目をはじめ、ハチ(膜翅)目、ハエ(双翅)目なども同じ状況です。このことから、「群馬県にはたくさんの種類の昆虫がいるはずなのに、調査が十分に行われていない。」と考えられます。

過去に県内で昆虫に興味を持って調べていた人達のほとんどがチョウの愛好者だったため、チョウについての記録はある程度多いのですが、それ以外の昆虫については調べる人がごく少数であったため記録が少ないといえます。これは群馬県内の昆虫に関する文献や同好会誌などをみてもわかります。

レッドデータはあるけれど・・・

群馬県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)は2002年に発行されました。このなかには15目305種の昆虫が掲載されています。そして今年、改訂版が発行される予定です。

ところが上述したチョウをはじめ、トンボや一部の甲虫などを除いて、県内にどんな種類がいて、どこに生息しているのかなどの基礎的なデータが充分得られていないのが実情です。

群馬の昆虫類をしらべよう!

「昔は〇〇がたくさんいた。」という話を時々聞きます。ところがその証拠となる標本もなければ、調べてまとめられた記録がない場合がほとんどです。これでは本当に“昔はたくさんいて”、現在は少なくなったのか?確かめることができません。

それではどうすればよいのでしょうか。過去の様子は文献や標本でしか調べることができません。今できることは過去の記録をまとめるとともに、将来のために現在の状況を調べて記録し、標本として残しておくことが重要なのです。

最初に述べたように昆虫は膨大な種類がいるため、これを一人、二人で調べることは不可能です。ぜひ、みなさんも群馬県の昆虫について一緒に調べてみませんか。

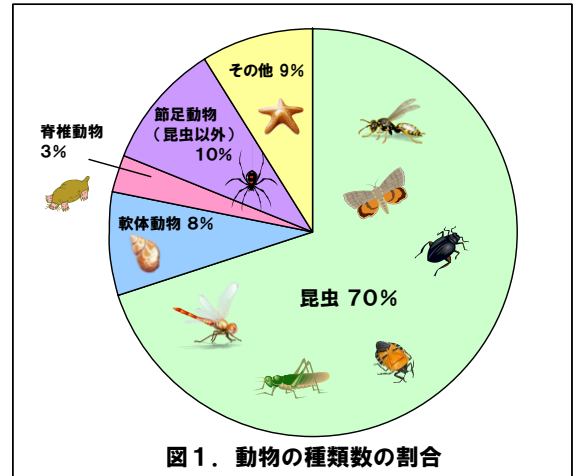


図1. 動物の種類数の割合

表 1. 世界、日本および関東各都県の昆虫の種数

No.	目	世界	日本	群馬 (~2011)	埼玉 (1999)	栃木 (2003)	茨城 (1993)	千葉 (1999)	神奈川 (2004)	東京都 (2011)
1	トビムシ目	3,500	340	29	38	144	71		70	95
2	カマアシムシ目	650	63	11	26	33	18		24	22
3	コムシ目	800	14		4		7		4	1
4	イシノミ目	450	15	1	1		2		4	3
5	シミ目	400	14	3	1		2		1	
6	カゲロウ目	2,000	170	50	72	70	48		72	52
7	トンボ目	5,180	190	90	90	98	90	78	86	93
8	カワゲラ目	2,000	170	33	51	60	39		58	58
9	ゴキブリ目	3,700	52	1	4	5	5	7	8	12
10	カマキリ目	2,000	9	5	5	5	5	6	7	7
11	バッタ目	13,000	390	99	121	110	100	90	119	113
12	ナナフシ目	2,500	18	4	5	5	3		6	5
13	カカトアルキ目	3	—	—	—	—	—	—	—	—
14	ハサミムシ目	1,900	20	10	13	2	6	8	12	11
15	シロアリ目	2,200	18	1	1		1		3	3
16	シロアリモドキ目	2,000	2	—	—	—	—	—	—	—
17	ガロアムシ目	20	5	1	4	2	1	—	1	1
18	ジュズヒゲムシ目	32	—	—	—	—	—	—	—	—
19	チャタテムシ目	3,000	92	5	1		23		23	32
20	ハジラミ目	200 属	150	2	1		1		5	11
21	シラミ目	500	40	1	10				3	4
22	アザミウマ目	5,000	200	6	13	33	53	61	96	88
23	カメムシ目	89,000	2,920	249	981	1,101	423	482	1,134	1,090
24	アミメカゲロウ目	6,000	150	16	53	65	52	—	77	61
25	コウチュウ目	370,000	10,600	2,498	2,826	3,611	2,825	2,257	4,126	3,182
26	ネジレバネ目	548	41	4	13	3	4		4	5
27	ハチ目	120,000	4,500	315	1,069	1,265	308	380	1,411	1,115
28	シリアゲムシ目	500	45	5	18	20	11	3	13	9
29	ノミ目	1,800	71	2	30		1		8	6
30	ハエ目	110,000	5,300	196	1,490	896	441	160	958	1,385
31	トビケラ目	10,000	496	80	83	86	54	—	138	95
32	チョウ目	122,000	6,250	1,481	2,336	2,510	1,564	1,312	2,392	1,964
	(チョウのみ)	(17,550)	(247)	(140)	(134)	(131)	(117)	(93)	(132)	(127)
	計	880,683	32,345	5,198	9,360	10,124	6,158	4,844	10,863	9,523

主な参考文献

- 群馬県、群馬県高等学校生物部会(1985)群馬県動物誌
- 群馬昆虫学会(1999~2011)乱舞. No.9~No.20
- 赤城昆虫同好会(1967)群馬県の蝶・蛾特集号. 赤城, Vol.8, No.1.
- 埼玉昆虫談話会(1999)埼玉県昆虫誌
- とちぎの昆虫 I . II (2003)栃木県
- 水戸市立博物館(1993)茨城県の昆虫
- 千葉県生物学会編(1999)千葉県動物誌. 文一総合出版.
- 神奈川昆虫談話会(2004)神奈川県昆虫誌
- 東京都本土部昆虫目録作成プロジェクト(2011)
- 日高敏隆監修(1996~1998)日本動物大百科 昆虫 I ~ III. 平凡社.